

第3回アメリカナマズ釣り大会 in 布目湖が開催されました。

布目ダム貯水池（布目湖）で繁殖するチャネルキャットフィッシュ（通称：アメリカナマズ）は、特定外来種で食欲旺盛で繁殖力も強く、生態系への影響が心配されています。

平成30年7月14日（土）に布目湖において『アメナマ』を知る・釣る・食べる！をテーマに布目川漁業協同組合、JOFI奈良（釣りインストラクター連絡機構）、NPO法人日本へらぶなクラブの主催により、釣獲調査を目的としたアメリカナマズ釣り大会が開催されました。

猛暑のなか、56名の参加者の皆さんにより、最高長寸72.0cm～幼魚まで約30匹の釣果を得ました。

大会では、近畿大学農学部 環境管理学科・水産学科による食性や生態調査の報告と株式会社TSJ（認定鳥獣捕獲等事業者）や農楽の宿（のらの宿）の方々によるクッキングコーナーも好評で、スタッフを含めた総勢約100名のみなさんがアメナマの試食を楽しんでいました。

また、布目ダム管理所からもダムの目的などのパネル展示を行いました。
今後も外来種対策として、継続的な活動を期待しています。



ミーティングの様子



検寸状況（最高長寸72.0cm）



生態調査報告



クッキングコーナー



表彰式



布目ダムブース